

2023年度SDGs未来都市全体計画提案概要(提案様式2)

提案全体のタイトル:「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現

提案者名:埼玉県鴻巣市

全体計画の概要:これまで「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現に向け、コウノトリが生息できるということは、豊かな自然環境の証として、環境にやさしいまちづくりを進めてきた。こうした中、豊かな自然環境が守られてこそ、暮らしや社会が成り立ち、その上で経済が発展するという「SDGsウエディングケーキモデル」の考え方は、本市の目指す姿と同じ方向性であることから、「こうのとりの里」をシンボルとしたSDGsの推進を目指していく。今後は、環境面のみならず、あらゆる施策を「こうのとりの里」と関連付けながら持続可能なまちづくりを展開していく。

地域の実態

- 首都圏50 km圏内に位置し、豊かな田園地帯が広がる住宅都市
- 市名の由来とも言われる「こうのとりの里伝説」や「花のまちこうのす」が特徴
(課題)経済面は低い昼夜間人口比率(81.06%)と地域経済循環率(61.9%)、社会面は人口減少と少子高齢化の進展、環境面は気候変動への対応としている。

2030年のあるべき姿

- あるべき姿 『人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす』**
- 基本方針1 こうのとりと創るネットワークとにぎわいのあるまち (経済)
 - 基本方針2 こうのとりと描くライフデザイン (社会)
 - 基本方針3 コウノトリとともに生きる自然豊かな環境づくり (環境)

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット

基本方針1 (経済)

- ①ステークホルダーとの連携
- ②地域産業の振興
- ③シティプロモーションの推進



基本方針2 (社会)

- ④子育てしやすいまちづくり
- ⑤未来をひらく人材の育成
- ⑥自分らしく生きられる社会の形成



基本方針3 (環境)

- ⑦エコライフの実践
- ⑧多様な生きものが共存する環境の整備
- ⑨花と緑あふれるまちづくり



自治体SDGsに資する取組

- 経済**
 - ①官民連携による地域経済の活性化、事業者連携支援
 - ②商店街のにぎわい創出、道の駅の整備
 - ③まちの魅力の発信、関係人口の拡大
- 社会**
 - ④婚活・結婚への支援、妊活・出産への支援
 - ⑤教育ICTの推進、地域の担い手不足の解消
 - ⑥LGBTの理解促進、「健康こうのす」の実現
- 環境**
 - ⑦ゼロカーボンシティの推進、ごみの減量化と適正処理
 - ⑧環境保全型農業の推進、生物多様性の維持保全
 - ⑨花のある都市空間の創出、公共交通の充実

情報発信

- 【域内】**○広報 ○市職員向け研修
○出前講座 ○小中学生向けへの情報発信
○SNS (LINE、Twitter、Instagram、YouTube)
- 【域外】**○埼玉版SDGs推進アプリの活用
○埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム
○地方創生SDGs官民連携プラットフォーム
- 【海外】**○一般財団法人自治体国際化協会との情報交換

普及展開性

典型的なベッドタウンとして、急速な高齢化の進展と低い昼夜間人口比率は、多くの住宅都市が抱える共通の課題となっている。そこで、SDGsを推進するシンボルとして「コウノトリ」といった地域資源を設定し、あらゆる施策と結び付けることで、市民・事業者等にとって馴染みやすくなり、様々なステークホルダーとの連携強化が期待できることから、他の自治体へ普及展開することが可能である。

各種計画への反映

- 鴻巣市総合振興計画
 - 鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略
 - 鴻巣市DX推進計画
 - 鴻巣市都市計画マスタープラン
- 基本方針に関連する分野別計画についても反映(未反映の計画については、改定時に順次反映)

行政体内部の執行体制

- 部局を横断する推進組織として、市長を本部長とする「鴻巣市こうのとりの里SDGs推進本部」を設置。
- 「鴻巣市若手職員政策研究事業」における「SDGsモデル事業」の検討。
- 「鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会」における外部からの効果検証。

ステークホルダーとの連携

- 市内高校、大学、金融機関、民間企業等の連携協定締結先との連携
- コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム
- 近隣市町で構成する協議会との連携
- オーストラリアヒルズシャリア市との交流

自律的好循環の形成へに向けた制度の構築等

- 鴻巣市コウノトリファンクラブ:コウノトリの野生復帰に向け、自然と共存する持続可能なまちづくりを会員とともに推進
- こうのとりの里ブランドマークによる事業の推進:安心安全な農産物や新たに開発されたコウノトリ関連商品の販路拡大
- コウノトリの里づくり推進協議会(仮称):ブランドマークの自立運用のほか、地域振興、環境教育を一体的に推進
- 企業版ふるさと納税制度の活用:共感する民間事業者とともに事業を推進

1. 将来ビジョン

2. 自治体SDGsの推進に資する取組

3. 推進体制